

日本写真芸術学会 第1回写真史研究会

日本写真芸術学会は、写真表現に関わる制作や理論、歴史等の学問的研究を行い、写真文化の向上と普及に寄与することを目的とし、我が国初の写真芸術の名を冠した学会として平成3年に設立されました。

本学会が3本の柱として掲げている写真の表現、歴史、教育に関する会員の研究成果は、これまで年次大会の研究発表会や学会誌において発表されてきました。学会ではさらにそれぞれの分野における研究の活性化と深化を目指して研究会活動を進めて行きたいと考えています。

このような主旨により、この度、写真家シュティルフリート研究の第一人者であるルーク・ガートラン博士をお招きして第1回写真史研究会を開催いたします。明治初期の日本において重要な役割を果たしたシュティルフリートの広く知られることのなかった業績を解説し、我が国の初期写真史の再考察を目指します。ご関心のある多くの会員の方にご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

日時： 令和元年 8月3日(土) 15:00~17:30

会場： 東京都写真美術館 学習室 (1階スタジオ前にて 14:30 から 受付開始)

参加費： 無料 (定員 24名・先着順)

ゲスト： ルーク・ガートラン (セント・アンドリュース大学准教授)

講演： 「日本における経歴—ライムント・フォン・シュティルフリートと初期横浜写真」

(逐次通訳付講演約 90分、その後質疑応答・ディスカッション)

A Career of Japan: Baron Raimund von Stillfried and Early Yokohama Photography

This lecture will introduce the major aims and findings of *A Career of Japan* (Brill, 2016). This book presents the first in-depth study of the career and work of the Austrian photographer Baron Raimund von Stillfried in Meiji Japan. A representative range of albums and collections from around the world will be discussed in order to provide a new foundation for his work, which to date has been mired in confusion and incorrect attributions. The lecture will also highlight Stillfried's wider circle of associates – both Japanese and Western – and the need to consider his career and work in both local and global contexts.

ゲスト紹介： Dr. Luke Gartlan (2019年3月~8月、日本大学研究員)

2004年、メルボルン大学にて博士号取得。

2005~2007年、日本学術振興会・外国人特別研究員(日本大学芸術学部)。

2007年、セント・アンドリュース大学美術史学部専任講師、2016年より現職。

2013~2018年、*History of Photography* 誌編集主幹。

申し込み方法：下記要領にて事前登録をして下さい。追って確認の連絡を致します。

氏名、所属、電話、メールアドレス等を記入の上、学会事務局までメール、FAXにてお送り下さい。

E-Mail : jsahp.info@gmail.com FAX : 03-5995-4721 締切：7月30日(火)

主催 日本写真芸術学会 共催 東京都写真美術館

日本写真芸術学会事務局 〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1 日本大学芸術学部写真学科内

Tel. 03-5995-8858 Fax. 03-5995-4721 E-Mail: jsahp.info@gmail.com URL <http://www.jsahp.org/>